

# NEWS LETTER



Vol.3



福島県内で生活する外国人は増加しており、仕事や留学等その理由はさまざまです。日本人とのコミュニケーションや生活する中で必要となるのが日本語ですが、日本語はひらがな・カタカナ・漢字と覚えることが多く他の言語より習得が難しいと言われています。今回は日本語を学ぶ方、教える方のための取り組みについて紹介します！



## 日本語を教える・学ぶ ～トライアンフ、Edumo～

製造業の派遣社員や技能実習生として働いている株式会社トライアンフ(須賀川市)様の外国人を対象にステップ日本語講座を開催しています。講師は金田萌先生(株式会社 Edumo 代表)と当協会スタッフが学習者のレベル別に受け持ちました。(1月27日(土)～3月30日(土)まで4回)

<企業担当者の穂積由紀さんの声>

「参加者は日本語を勉強したい！と言って自分から申し込んでいます。今は工場勤務だけど日本語ができるようになったらコンビニエンスストアで接客業をやりたいと話している人もいます。日本語がわかるようになると、仕事での指示も言われたとおりにするだけでなく意味を知ってできるようになるので、作業効率も上がるのではないかと思います。今回の日本語講座を見て、外国人にどのように伝えるのが良いのか、スタッフも勉強しないとだなと感じています。」

ステップ日本語講座は日本語教室開設を検討している市町村国際交流協会や自治体、外国人従業員向けに日本語講座を取り入れた企業等がトライアル的に体験できる日本語講座です。興味のある方は当協会までぜひご相談ください！

## 日本語を教える

～インターカルト日本語学校日本語教員養成研究所福島サテライト～

外国人に日本語を教えてみたいという方を対象とする「日本語学習支援のためのスタートアップ講座」が6回コースで始まりました。今回はインターカルト日本語学校の協力のもとカリキュラムを作成し、福島サテライトの佐藤美華先生をはじめ素晴らしい講師の方々に講座を担当していただいています。受講者は民間企業で働いている方や自治体職員等、外国人と関わりが多くちょっとした日本語を教える機会が想定できる方たち。1回目は企業で行う日本語教室をオンラインで見学しました。2回目と3回目は外国人の方々に協力いただき、オンライン教材を使って日本語を教える実践練習や「やさしい日本語」のグループワーク等を実施しました。(2月25日(日)～3月24日(日)、オンライン他全6回)



日本の介護施設で働くために日本語を勉強しているインドネシアの学生と県内の高校生がオンラインで交流しました。外国人との会話のコツを学ぶ「やさしい日本語セミナー」を受講した高校生たちにとって「やさしい日本語」の実践編。緊張しながらまずは日本語で自己紹介からスタート。

「インドネシアのバレンタインデーはどんなことをするのか？」  
「インドネシアで有名な食べ物は何ですか？」等いろいろなことを聞いていました。インドネシアの学生はとても元気で、インドネシアの有名な料理や好きな日本語等を私たちに教えてくれました。※今回のオンライン交流はインカレックス株式会社（東京都港区）様のご協力で実現しました。



2月21日（水）あさか開成高等学校



3月8日（金）松韻学園福島高等学校



2月13日（火）聖光学院高等学校



2月20日（火）福島東陵高等学校

外国人にわかりにくい日本語を伝える方法（例）

軽トラック（軽トラ）  
写真を見せる

制服 イラストや写真を使う

「やさしい日本語」に  
言い換えることが難しい  
ときはイラストや写真を使  
って伝えることも有効  
です



編集後記

トライアンプ様での日本語教室の一コマ。もの数え方を勉強していた時に参加者から「ひとつ、ふたつ…の「つ」と1個、2個…の「個」の違いは何？」との質問が。何だろう？聞かれてもすぐには説明できないぞと考え込むような場面でも、講師は学習者の質問に答えます。私たちの当たり前を言語化して伝える日本語の先生はすごいなと改めて感じた一日でした。

公益財団法人福島県国際交流協会

〒960-8103 福島市舟場町2-1 福島県庁舟場町分館2階

TEL 024-524-1315 E-Mail [lasanichi-f@worldvillage.org](mailto:lasanichi-f@worldvillage.org) (やさしい日本語担当)

